

アユ資源の状況について

1. 魚群探知機による調査

- 1月から8月まで魚群探知機を用いて、水深30m等深線上を一周して魚群数を計測する調査(周回魚群調査)、および北湖全域を横断して資源尾数を推定する調査(トランセクト調査)を行っている。
- 8月の魚群数は149群で平年比120%(図1)、8月の推定資源尾数は0.80億尾で平年比78%(図2)であった。

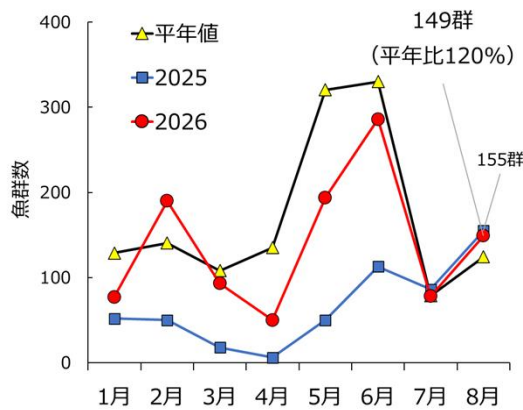


図1 魚群数の推移

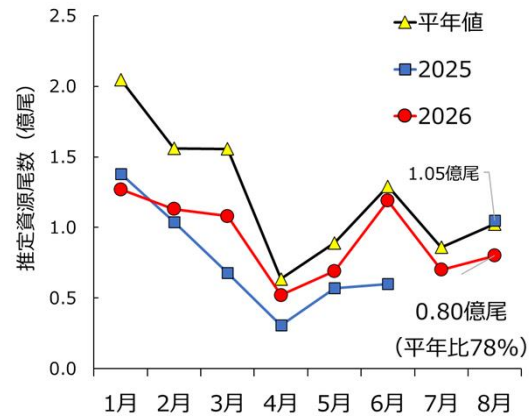


図2 推定資源尾数の推移

2. 産卵数予測

- これまでの研究から、産卵調査における有効産卵数*は、5月魚群数や3月のエリ漁における体長30~50mmのアユ**のCPUE(単位努力量当たり漁獲量)と強い相関があることが分かっている。
- 今年の産卵数について、それぞれの相関から予測した結果、最大で約60億粒の産卵が見込めると考えられた(図3,4)。
- なお、実際の産卵数は産卵期の河川環境に影響されることに留意する必要がある。

* 産卵調査で確認された産卵数から死卵を除いたもの。

** 3月時点で体長30~50mmのアユが秋の産卵親魚の主群になると考えられる。

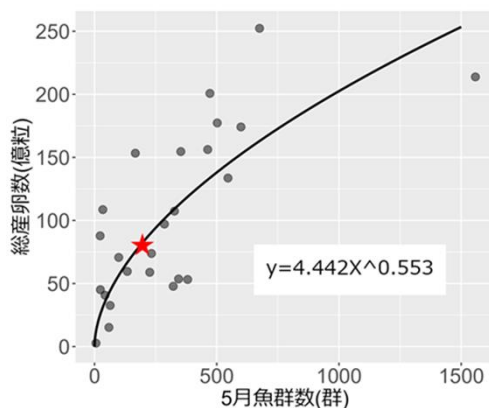


図3 5月魚群数と有効産卵数の関係

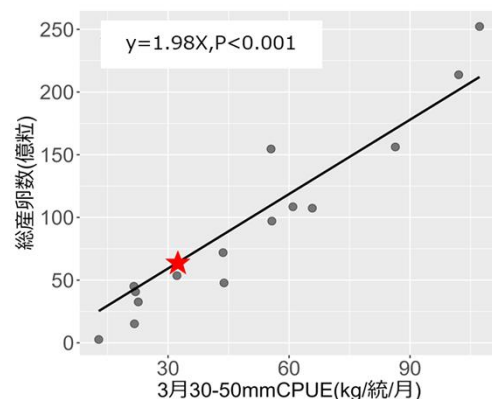
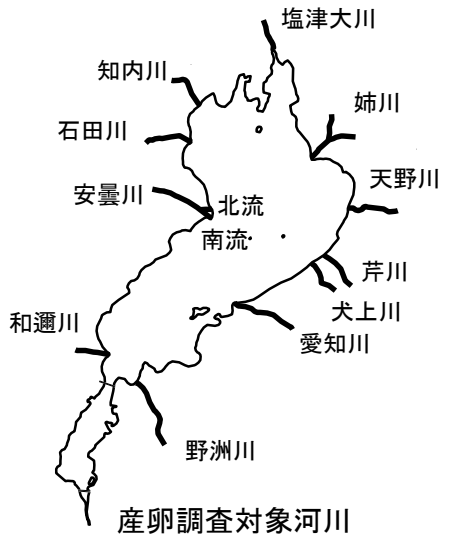


図4 3月体長30~50mmCPUEと有効産卵数の関係

3. 令和8年アユ産卵調査結果（第1次調査終了時点）および各河川の状況

① 第1次調査時（8月25日～27日）の調査河川の水理状況および親魚状況

河川名	水温(℃)	流量 (立方メートル/秒)	河川水量	親魚状況
安曇川北流	—	—	渇水	—
安曇川南流	—	—	渇水	—
石田川	—	—	渇水	—
知内川	22.7	0.49	少ない	非常に少ない
塩津大川	29.7	0.07	非常に少ない	非常に少ない
姉川	—	—	渇水	—
天野川	29.6	0.40	非常に少ない	非常に少ない
芹川	27.7	0.21	非常に少ない	少ない
犬上川	21.6	0.34	少ない	非常に少ない
愛知川	26.0	0.45	非常に少ない	非常に少ない
野洲川	29.6	0.47	非常に少ない	なし
和邇川	26.9	0.08	非常に少ない	非常に少ない



② 調査河川の有効産卵数*

河川名	第1次調査 8月25日～8月27日	計**
安曇川北流	渇水	0.0
安曇川南流	渇水	0.0
石田川	渇水	0.0
知内川	0.0	0.0
塩津大川	0.0	0.0
姉川	渇水	0.0
天野川	0.0	0.0
芹川	0.0	0.0
犬上川	0.0	0.0
愛知川	0.0	0.0
野洲川	0.0	0.0
和邇川	0.0	0.0
計**	0.0	0.0



姉川 野寺橋下流（8/25）

* 有効産卵数：総産卵数から死卵数を除いた値。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。

③ 調査河川における有効産卵数の年別比較

	(単位：億粒)							
年	第1次調査	第2次調査	第3次調査	第4次調査	第5次調査	第6次調査	第7次調査	計**
H28	0.0	6.4	170.7	36.7	0.0	0.0		213.8
H29	0.0	0.1	2.4	0.2	0.0	0.0		2.7
H30	0.1	8.4	3.8	0.2	0.1	0.2	0.0	12.8
R1	0.0	13.1	25.7	11.7	3.1	0.0		53.6
R2	0.0	12.4	28.9	4.7	1.7	0.0		47.8
R3	2.7	136.2	12.4	1.8	2.5	0.6		156.2
R4	3.8	18.0	36.5	0.5	0.1	0.0		58.9
R5	0.0	7.7	5.3	1.9	0.2			15.2
R6	0.0	7.6	19.3	5.1	0.5	0.0		32.6
R7	0.0	10.1	13.9	16.5	0.2			40.7
R8	0.0							0.0
	平年値*							
	57.9							

* 平年値は過去10年のうち、最大値、最小値および過小評価と判断されたH30年の値を除く平均値です。

** 数値は表示単位未満を四捨五入しており、合計と内容の計が一致しないことがあります。